

これまでの主なご意見（要点）（案）
（第1回部会終了時点）

諮問事項「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」			
基礎的・汎用的能力の明確化、 発達段階に応じた育成	後期中等教育における 職業教育の在り方	高等教育における職業教育の在り方	その他（共通事項等）
<p>【問題点】</p> <p>学生・生徒の興味・関心からの指導に偏り、社会的役割を果たす観点からの指導が不足</p> <p>【求められる能力】</p> <p>コミュニケーション能力(特に聞く力)</p> <p>・粘り強さ(ディシプリン-鍛錬-に通ずる)</p> <p>自ら課題を発見し、解決を図る力、自ら目標を立て、行動する力</p> <p>・社会力(社会をつくる力)</p> <p>・変化への対応力、職場が変わっても生き抜ける力</p> <p>・論理的な思考力 など</p> <p>【検討の方向性・検討課題(案)】</p> <p>・観念的にではなく、社会に貢献できる人材として必要なコンピテンシーを明確化し、身につけさせる観点からの検討</p> <p>・コンピテンシーを細分化しすぎないことが必要</p> <p>・就職先をステータスとしてとらえる流れを断ち切る観点からの検討</p> <p>・発達段階ごとの成績の追跡評価等の方策の検討など</p>	<p>【問題点】</p> <p>学科別にみれば、普通科の実態が特に深刻</p> <p>・高校教育において技能が軽視されている傾向</p> <p>専門高校を普通科高校より低レベルに見る風潮 など</p> <p>【検討の方向性・検討課題(案)】</p> <p>・進学率の上昇も踏まえた専門高校の在り方の検討</p> <p>・高校において誰もが学ぶべき内容(例えば「産業社会と人間」)の検討</p> <p>・諸外国における高校教育の柔軟化への取組(座学と職業訓練の組み合わせ等)を踏まえた検討</p> <p>・教育改革の理念としてのキャリア教育の性質を踏まえた検討</p> <p>・社会の変化に素早く対応できる等の特質を持つ高等専修学校も含めた検討 など</p>	<p>【問題点】</p> <p>・就職部をキャリアセンターに名称変更しているが、就職指導・就職支援は混迷</p> <p>・vocational career と、scholastic career との間に大きなギャップ</p> <p>社会からの要請と、大学等で教えていることとの間に大きなギャップ</p> <p>・無試験に近い状態で入学し、引き続き普通教育を受けることによる目的・意欲の喪失 など</p> <p>【検討の方向性・検討課題(案)】</p> <p>・高等教育の理念や社会的責任を踏まえた検討</p> <p>各高等教育機関の役割・機能の差異、それぞれの分担関係の整理</p> <p>・学生等のキャリア形成のために大学等は何ができるか、といった観点からの検討</p> <p>・職業を核とするような教育機会、教育プログラムを整備する観点からの検討</p> <p>・諸外国における学位資格と職業資格の位置づけの枠組みを考慮に入れた検討</p> <p>・大学院での早い段階からのキャリア支援 など</p>	<p>【問題点】</p> <p>教員のキャリア教育に対する意識、指導力の不足</p> <p>実習が少なく座学中心の教育方法</p> <p>子どもや教員等にとって職業が見えにくくなっている</p> <p>・普通教育中心の構造により、ドロップアウト等の弊害が発生 など</p> <p>【検討の方向性・検討課題(案)】</p> <p>体験活動の充実など産業界との連携・協力の強化、産業界への発信の強化</p> <p>・「職業の可視化」の観点からの検討</p> <p>・職業教育を担う教員に求められる資質(例えば実務経験)の検討</p> <p>・教育現場のダイバーシティ(多様な経験を持つ者の教育への参画)の促進の観点からの検討</p> <p>・職業教育体系を作り上げていく観点からの検討</p> <p>・「キャリア教育」と「職業教育」の違い、内容の整理</p> <p>他省庁との関係の整理、全体的な方向性の打ち出し</p> <p>・産業構造や就業構造、地域の観点も踏まえた検討</p> <p>・社会人等の大学等における学び直しの促進の観点からの検討</p> <p>・特別支援教育における対応策の検討</p> <p>・短期的な進路指導にとらわれない検討 など</p>
その他		学校が果たすべき役割等については、検討課題となり得る	
<p>家庭における職業観の醸成、子どもへの伝承</p> <p>・親が働いている姿を子どもに見せるなど、「オン・コミュニティー」での教育</p> <p>・中卒者、中退者、フリーター、ニート等への対応</p>		<p>・学歴重視ではなく、能力が正当に評価され、活躍できる社会の創出</p> <p>・研究と、国民の視点に立って求められる知識をつなぐキャリア、資格制度の創設 など</p>	

は、複数の委員が挙げられた意見